

時間割：全6回（講義 135 分＋事例検討 90 分）

講義 / 13:00～15:15 事例検討 / 15:30～17:00

| | 月日 | 講義（13:00～15:15） | 事例検討 |
|---|----------------|--|---|
| 1 | 2019年 5月12日 | <p>講座 1. 児童虐待の原因は母子の愛着関係の不成立</p> <p>A. 母子の愛着関係とはどういうものか / 子の愛着と子を守る母親の「母性」</p> <p>B. 児童虐待の4つの類型と背景にある愛着関係の不成立 児童虐待の4つの型、聞き取り方の要点 / 代理ミュンヒハウゼン症候群</p> <p>C. 母子の間に愛着関係が成立しない原因 1. 母親に「軽度」知的能力障害がある場合 2. 母親に精神障害がある場合 3. 母親に被虐待体験がある場合</p> | <p>(15:30～17:00)</p> <p>●事例検討は、実際の事例を講師から提示・解説します。</p> <p>●事例検討に当たっては守秘義務の厳守をお願いします。</p> |
| 2 | 7月7日 | <p>講座 2. 母親の「軽度」知的能力障害と児童虐待との関係</p> <p>A. 母親の「軽度」知的能力障害を理解する 「軽度」知的能力障害の精神医学的理解 厚労省「子ども虐待による死亡事例」報告書 虐待する母親像を読み解く</p> <p>B. 母親の「軽度」知的能力障害のレベルと虐待内容との関係 母親の養育能力を「軽度」知的能力障害～境界知能の段階に分けて検討</p> | <p>●下記の事例が予定されていますが、事情により変更する場合があります。</p> <p>①MR*の母親による身体的虐待で子ども家庭支援センターが介入した事例</p> |
| 3 | 9月1日 | <p>講座 3. 「虐待の世代間連鎖」のように見えるもの</p> <p>A. 虐待の心因説と世代間伝達の理論 虐待する親についての研究 / 世代間伝達理論の研究史レビュー</p> <p>B. 「虐待する親」についての研究 ボウルビィ、エインスワース、ジュディス・ハーマン、SSP法、AAI法</p> <p>C. 「被虐ママ」の心理的理解 解離性障害とそれに近い心理状態の理解 / 社会・対人恐怖と育児不安</p> | <p>②MR*の母親によるネグレクト事例（夫のDV*問題をきっかけに事例化、児相通告）</p> <p>③MR*の母親によりネグレクトされた息子が発達障害と誤診された事例</p> |
| 4 | 11月10日 | <p>講座 4. 被虐待児の不応問題</p> <p>A. 反応性愛着障害 / 脱抑制型対人交流障害 虐待する親のもとで生きるために被虐待児が身につけた対人関係様式</p> <p>B. 被虐待児が誤解されやすい発達障害・精神疾患 小学校低学年までは発達障害を疑われる / 引きこもりの背景にある虐待</p> <p>C. 「普通の」家庭で育った支援者が被虐待児を誤解してしまう心理 「試し行動」「誕生ごっこ」を再考する / 恐怖による愛着の否認</p> | <p>④被虐ママ*が心理的に追い詰められて子を死亡させたしまった事例</p> <p>⑤子を愛せないと悩んでいた被虐ママ*の回復事例（愛着関係の再構築の経過）</p> |
| 5 | 2020年 1月19日 | <p>講座 5. 産後うつと子育て支援 / 「被虐ママ」</p> <p>A. 被虐待体験を抱えた女性＝「被虐ママ」を知る 幼少時に受けた虐待の傷と育児不安 / 誤診された子の事例</p> <p>B. 育児不安と産後うつ / 子を愛せない心理 子を怖がる / 「赤ちゃん部屋のお化け」（セルマ・フライバーグ）</p> <p>C. 「被虐ママ」の回復と支援方法 子育てを通じて愛着関係を回復するプロセス / カウンセリングの方法</p> | <p>MR*：軽度知的能力障害 (mild Mental Retardation)</p> <p>DV*：配偶者間暴力 Domestic Violence</p> <p>被虐ママ*：幼少時に虐待を受けた体験を持つ子育て中の母親</p> |
| 6 | 3月8日 | <p>講座 6. 子と母を守るためのケースワークの実際と社会的養護</p> <p>A. 母親に「軽度」知的能力障害がある場合の支援方針 母親と友好的な関係を保ちながら→子を直接に守る</p> <p>B. 被虐待児を養育する里親家庭 里親養育の困難さとタブー / 支援の課題と「つながり」への着目</p> <p>C. 母親が健常者の場合の支援方針 母親を心理的に理解する / 地域での支援体制を整える</p> | |